

平成29年度

湯沢砂防だより

No.10

平成29年7月 21日

国土交通省 湯沢砂防事務所

越後妻有防災プログラム2017に参加しました！ ～十日町市立川治小学校児童300名が土石流体感(3D)装置を体験～

7月12日(水)川治小学校(十日町市)において「越後妻有防災プログラム2017」が開催されました。

湯沢砂防事務所は「土石流体感3Dシアター」で土石流発生の前兆や避難の大切さを理解して頂くため、毎年各地で行われる防災訓練やイベントなどに参加しています。当日は、児童約300名、教員の方にも3Dシアターの立体的な映像やガタゴトと揺れる椅子で土石流災害の恐ろしさについて疑似体験していただきました。今月九州地方で発生した、土砂災害というものがどのようなものなのか少しでも感じていただくこともできたと思います。

また、シアター横では湯沢砂防スペシャルエンジニア(YSEE)の小川さん、加藤さんが模型を使い砂防堰堤の効果を説明し、「砂防堰堤の必要性がよく分かった」との感想を頂きました。

このプログラムでは、降雨車、濃煙体験、VR体験なども行われ、児童が防災について学びました。大雨が降り、土砂災害発生危険度が高まった時は、市町村長から避難勧告等の発令や、住民の自主避難の呼び掛けが行われます。3Dシアターの内容を思い出していただき、防災情報や周囲の状況に注意して災害から身を守るために早めの準備をして頂けると幸いです。



土石流体感3Dシアター



模型を使い説明

「YSEEの小川さん、加藤さんの説明に興味津々の児童」



土石流3Dシアター体験!
「怖かった」「楽しかった」



3Dシアター もう一度体感したい!
「午後の7時-8時に7分前並ぶ児童たち」

次回は、8月27日の上田ふれあいまつり(南魚沼市登川河川公園)に参加予定です。